



10 碧たちが通った高校の同窓会が催されたホテル
第一イン新湊 旧館
【射水市】



前年に移転オープンしたホテルの旧館をお借りして撮影。俳優・スタッフも撮影期間中に宿泊した。

11 風花の大である光一が営む齋藤合金鋳造所
今井合金鋳造所
【高岡市】



高岡銅器の発祥の地・金屋町の鋳造所。

12 風花が姑の美由紀と営業に訪れたホテル
ホテルよし原
【富山市】

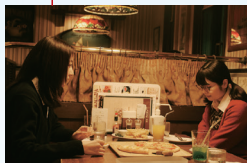


富山駅からほど近く、大広間が自慢の歴史ある旅館。

13 尾関が母親と病室で面会するシーン
富山県立中央病院
【富山市】

富山県の基幹・中核病院。

14 受験に失敗した風花を慰めるシーン
洋食だんらんや
【富山市】



網焼きハンバーグが自慢のアットホームな洋食屋さん。

15 留置所のシーン
富山刑務所
【富山市】



刑務作業では珍しい「神輿製作」が行われている。

※私有地への無断立ち入りはご遠慮ください。ロケ地へ訪れる際は、騒音やゴミのポイ捨てなどがないように、マナーに十分ご注意ください。



『透明なわたしたち』は富山と東京を舞台にしており、メインキャラクターたちの高校時代の撮影は全編富山で行われました。ロケ地を巡り『透明なわたしたち』を追体験してみませんか

3 碧と風花が本音をぶつけ合うシーン
内川【射水市】



ノスタルジックな雰囲気漂う港町。碧と風花の通学路でもあった内川は作中に何度か登場した。



1 碧たちが通った高校
旧鷹施中学校
【黒部市】



多くの学園ロケが行われている空き校舎。撮影に向け約半月をかけて、グラウンドやプールの整備を行った。

2 碧らが喜多野たちと初めてお祭りでお会いするシーン
放生津八幡宮
【射水市】



大伴家持が勧請した歴史ある神社。実際の曳山まつりしながら、31戸の屋台が神社に集結した。

4 尾関の母が営む碧たちが行きつけの喫茶店
アグリプラス【射水市】



空き店舗を利用して喫茶店仕様に飾り付け。作中での喫茶店「振り子」として撮影に使用。



6 尾関が一時期勤めていた運送会社
姫妃輸送【射水市】

多種多様な生鮮品を取り扱う運送会社。



5 喜多野・高木・尾関が曳山を引っ張るシーン
湊橋【射水市】



曳山祭りの一番の見所で、水面に映る提灯の灯りが幻想的。実際の曳山まつりより約5か月早く、計700人ほどのエキストラとともに本番さながらの様子で撮影された。

8 碧が学校から実家に帰ってくるシーン
内川シャインベース
【射水市】



内川沿いの空き家を改修したイベントレンタルスペース。

7 碧・風花・梨沙が放課後と共に過ごすシーン
移住体験施設「ほうじょう」【射水市】



昔ながらの町家で射水の暮らしが体験できる宿泊施設。実際に宿泊できるので、碧の実家を追体験できる。撮影に伴い制作スタッフも約2か月宿泊。

9 帰省する碧が乗っていた電車
万葉線(六渡寺〜庄川口)【射水市】



高岡市と射水市を結ぶ路面電車。

出演



林 裕太
尾関 健

高校時代の仲良し6人組の一人で喜多野の幼馴染



武田玲奈
桜井梨沙

女優志望だが恵比寿のクラブで働くホステス



倉 悠貴
高木洋介

順風満帆な渋谷のスタートアップ企業のCEO



伊藤健太郎
喜多野雄太

渋谷の片隅で間バイトに手を染める男



小野花梨
齋藤風花

東京で夢破れた元に戻って結婚した一児の母



福原 遥
中川 碧

新聞記者になった元パイロット誌ゴシップライター

『透明なわたしたち』は、映画『Winny』『ぜんぶ、ボクのせう』の松本優作が脚本と監督を務め、映画『ヤクザと家族』『The Family』の正体を手掛ける藤井道人がプロデュースする、ABEMAオリジナル連続ドラマです。社会派の作品を多く扱う2人の監督が、完全オリジナル脚本にてドラマを制作。福原遥を中心に「どこか居場所がないと感じてしまう20代の若者の『今』を切り取る作品」というテーマに共感した20代の実力派俳優がキャストに揃い、福原遥×松本優作×藤井道人による初タッグにて、東京と富山を舞台とした社会派群像サスペンスをお届けします。

本作の主演を務めるのは、ABEMAドラマ初主演となる福原遥。福原は、NHK連続テレビ小説『舞いあがれ!』でヒロインを務め、映画『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』で日本アカデミー賞新人賞を受賞し注目を集める実力派の俳優陣が勢ぞろいし、本ドラマの根幹を支えます。この5人を中心に、20代の若者たちが抱えている感情や置かれている状況、それによる葛藤を、リアルに、誠実に描き出し、群像劇だからこそ、あらゆる視聴者が登場人物の誰かに共感できるストーリーを展開します。